

学ぶ喜びを与える学習習熟度別指導の研究

— 基礎学力の定着をめざした実践 —

福島県立耶麻農業高等学校

一 主題設定の理由

基礎学力の不足から学ぶ手がかりをつかめず、また、自信をなくし学ぶ意欲が乏しい生徒たちに、読み・書き・計算を基本とした「国語講座」と「計算力講座」及び実験実習を主とする「生物工学」を設け、実践的研究を推進して、生徒に学ぶ喜びを味わわせながら、基礎学力の定着を図ることを目的にこの主題を設定した。

二 研究の基本方針

- 1 一人一人の生徒を大切にしたい学習習熟度別指導を展開する。
- 2 職員全員による共同研究とする。
- 3 本校の教育目標を踏まえたものとし、将来も継続実践する。

4 全生徒に、学校生活全般にわたる意欲と喜びを与える。
を基本方針として、円滑な研究が図られるよう配慮した。

三 研究実践

【国語講座】

言葉に親しみと関心を持つて楽しく学べる教材と指導方法の工夫

1 主題設定の理由

生徒たちが、文字言語への抵抗感をなくし、積極的に授業に参加でき、親しみ、興味・関心を持続できる教材の開発と、指導方法の工夫を目指し、主題を設定した。

2 研究方針

(1) 昭和五十七年から実施してきた「言語表現力テスト」を改善し、生徒が興味・関心を持続できる出題内容を検討する。

(2) 生徒の意欲や学力に関する調査をもとに、ステップ学習を実施し、教材の精選、出題形式や内容の工夫を検討する。

3 研究の方法及び内容

(1) 国語講座内容一覧表を作成した。(別表1)

(2) 漫画やパズル、ワープロの操作などを組み込み、学習方法の拡大を図り、学習意欲が持続できる指導方法を開発した。

(3) 初年度の研究を基にステップ学習のテキストを完成した。

(別表1) 国語講座内容一覧表 (各級の内容と配点)

分野	漢字の書き取り	漢字の読み方	語句の意味	作文	備考
級/配点	30点	40点	20点	10点	配点は級によってことなることがある
初級	10	基礎的な漢字の読み方	基礎的な四字熟語とことわざ	四コマ漫画の並べかえと、台詞入れ	基礎的な漢字の読み書きの語を指定して学習させる
	9		基礎的な漢字の書き取り	指定語をつないで短文をつくる	〃
中級	8	日常的な漢字の読み方	動物にちなんだことわざと四字熟語	文と文をつないで文章をつくる	初級のため漢字の読み書きの出題形式を応用的なものとする
	7		クロスワードパズルの完成	絵をみてストーリーをつくる	漢和辞典の使い方に慣れる・パズル形式を用いた漢字の書き取り
	6		生活に密着したことわざと四字熟語	正しい原稿用紙の使い方	漢和辞典の使い方に慣れる
	5		慣用句に親しむ	課題作文	国語辞典を使って同音異義語の区別をする・簡潔な表現について
上級	4	応用的な漢字の読み方	反対語・類義語探し	課題作文(物語を続けよう)	国語辞典を使って同音異義語の区別をする・文体の統一について
	3		応用的な漢字の書き取り	課題作文	応用的な漢字の読み書きの語を指定して学習させる・敬語について
	2		新聞のコラムを読む	現代用語の意味	コラムについての感想
1		原稿を持ってワープロを打つ	礼状を書く	ワープロを打つ、手紙の形式について	

【計算力講座】

つまづきを克服し、日常生活への応用力を培う。

1 主題設定の理由

「数学嫌い」の生徒の多くは、小学校・高学年頃の学習につまづきが始まり、このつまづきが次のつまづきを生じさせていることに着目し、つまづきの発見とその克服を目指してこの主題を設定した。

2 研究の方針

(1) 昭和五十七年より実施してきた「計算力講座」(別表2・3)を充実させる。

(2) 習熟度別学習の中で、生徒自らがつまづきの原因を発見し解消できるような配慮する。

(3) 生徒が飽きたり失望したりしないように課題を工夫、設定する。(別表4)

3 研究の方法及び内容

(1) 本講座の前に予習のための講義(サブ講座)を設け、その後昇級試験(本講座)を行う。

(2) 入学時は全員八教程からスタートさせ、初回のみ六教程まで跳び級試験を行う。(80%で合格)

(3) 個人カルテ及び受講記録一覧表を作成する。(入学時からの受講課程の記録)

【生物工学】

バイテクを学び生命を育てる喜び